

取材のお願い

## サッカー国際親善試合「JapaFunCup」開催迫る 取材申込み受け付け中 6月22日（土）Jヴィレッジスタジアム

国際交流基金アジアセンターは、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）との共催で、6月22日（土）に、U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs. U-18 東北選抜の国際親善試合「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」を開催いたします。会場は、東京2020オリンピック競技大会の聖火リレースタート地点となるJヴィレッジ（福島県）です。本事業は、日本と東南アジアの文化交流の祭典「響きあうアジア2019」の一環として開催されるものです。つきましては、下記の通り実施いたしますので、現地にて取材をいただきたくお願い申し上げます。



### 【実施概要】

#### ① 国際親善試合「JapaFunCup」 /

##### U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs. U-18 東北選抜

「JapaFunCup」は、東南アジア 11 か国から選抜された U-18 選手からなるチーム「ASIAN ELEVEN」と、東北各県から選抜された U-18 選抜選手からなるチームが対決する大会で、ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ（福島県楡葉町）にて開催いたします。未来のアジア、世界のサッカーを担う U-18 世代の選手育成を目指し、国境を越えて知識・経験を共有してレベルアップを図る事業の一環です。

#### ② Little Glee Monster（リトルグリーモンスター）生ライブ（ハーフタイム）

#### ③ 東南アジアフードフェスティバル

テーマソング「I BELIEVE」を歌う Little Glee Monster が、現地で生ライブを開催します。特設会場では東南アジアを代表するフードやスイーツが楽しめるなど、週末レジャーとして楽しめるコンテンツも揃います。

#### ④ サッカーフェスティバル

東日本大震災から約 8 年、2019 年 4 月 20 日に再開した「Jヴィレッジ」。この機会に、福島県内や周辺地域の小学生から高校生らが日本代表も練習を重ねた日本随一の施設に集結し、交流試合を行います。

日時：2019年6月22日（土）

場所：Jヴィレッジ スタジアム

所在地：福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森 8

主催：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

共催：公益財団法人日本サッカー協会（JFA）

後援：外務省、復興庁、福島県、公益社団法人日本サッカーリーグ（Jリーグ）

特設ページ：<https://asian-eleven.jfac.jp>

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

### ◆メディアアクティビティ

#### ・ 6月21日(金) :

9:00 東北選抜 公式練習 @J ヴィレッジスタジアム  
14:00 ASIAN ELEVEN 公式練習 @J ヴィレッジスタジアム

#### ・当日タイムライン 6月22日(土) :

8:30 サッカーフェスティバル キックオフ @J ヴィレッジピッチ No.3 ~ No.9  
※詳細は、お問い合わせください。  
11:00~ 15:00 東南アジアフードフェス @J ヴィレッジスタジアム ゲート側 特設会場  
12:00 「JapaFunCup」取材受付開始 @J ヴィレッジスタジアム、以降全て  
14:00 「JapaFunCup」キックオフ  
ハーフタイム Little Glee Monster ミニライブ  
試合終了後 両チーム監督の記者会見、選手のメディア対応予定

### ◆取材申請について

#### (1) 申請方法

- ①6月19日(水) 18:00までに、メールあるいはFAXでお申込みください。
- ②試合会場の取材スペースの都合上、取材人数を調整させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ③申請書の署名欄に必ずご署名ください。署名がない場合は申請を受けかねますのでご注意ください。

#### (2) メディアADカード、ビブスの受け渡しについて

試合当日、報道受付にて記者の方にはメディアADカード、フォトグラファー・テレビクルーの方にはビブスをお渡しします。

#### (3) 駐車場について

駐車場は数に限りがございます。テレビクルー、フォトグラファーの方を優先して調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。大会取材申請書に必要事項をご記入ください。

### ◆取材申請先

**芸能、生活、文化、社会、経済、国際 報道等のご担当の方々からのお申し込みは、下記で受け付けております。**

※サッカーフェスティバルのご取材申請もこちらです。

**クレアブ株式会社**

[AsianEleven@kreab.com](mailto:AsianEleven@kreab.com) / Tel. 03-5404-0640 / Fax. 03-5404-7120

**スポーツ報道ご担当者様、媒体様からのご取材のお申し込みは、下記へご連絡ください。**

**公益財団法人 日本サッカー協会 広報部**

[media@jfa.or.jp](mailto:media@jfa.or.jp) / Tel. 03-3830-1807 / Fax. 03-3830-1813

---

#### この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局 (クレアブ株式会社内)

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: [AsianEleven@kreab.com](mailto:AsianEleven@kreab.com)

取材のお願い

## 取材申込書

6月19日(水) 18:00までに Fax か E-mail でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

【FAX 返信先 : 03-5404-7120】 【メール返信先 : AsianEleven@kreab.com】

大会名	JapaFunCup ASIAN ELEVEN vs. U-18 東北選抜	電話番号	
会社名		FAX 番号	
申請者氏名		所属部署 又は媒体名	
住所	〒		
駐車場	<input type="checkbox"/> 希望する 車種 :	<input type="checkbox"/> 希望しない 車番 :	

取材希望 : 下記欄に【○】をご記入ください。

公開練習	Little Glee Monster	その他希望
JapaFunCup 試合	東南アジアフードフェス	
試合後記者会見、選手取材	サッカーフェスティバル	

※取材申請者の枠が足りない場合は、この用紙をコピーしてお使いください

取材者氏名 (判読できるようご記入ください)	所属部署 (新聞/テレビ等) 媒体名 (雑誌社等)	所属・希望カテゴリー (カテゴリーを○で囲ってください)		
		記者TVラジオ関係 (AD配布)	フォト (ピブス配布)	ENG (ピブス配布)
		記者 TVラジオ関係 (AD配布)	フォト (ピブス配布)	ENG (ピブス配布)
		記者 TVラジオ関係 (AD配布)	フォト (ピブス配布)	ENG (ピブス配布)
		記者 TVラジオ関係 (AD配布)	フォト (ピブス配布)	ENG (ピブス配布)

\* その他の媒体・フリーランスの方は、下欄にもご記入ください。

出版社名		編集部担当者名	
掲載媒体名		編集担当連絡先	Tel                      Fax
編集長名		掲載予定日	

## 「取材要項」についての承諾

上記申請者は、「取材要項」に記載された取材についての条件条項に従うことを承諾いたします。

申請者署名 :

## この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局 (クレアブ株式会社内)

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

## 【「ASIAN ELEVEN」選手一覧】








写真	フルネーム	国籍	ポジション	生年月日	身長 cm/ 体重 kg	所属
	モハammad・アイサン・ アイズディン・ビン・ア ブドゥラー・モハマッ ド・アイマン	ブルネイ	サイドバック	2002/2/2	169/55	Brunei National Academy U-18
	11歳でサッカーの才能を見出され、2015年にはブルネイ・スポーツ・スクールに選抜。数年後、ブルネイサッカー協会全国エリート・ユース・サッカー発展計画に参加するメンバーとして選ばれた。今シーズン、ブルネイ・プレミアリーグ（ナショナルリーグ2部）でゴールを決めている。足が速く、俊敏な動きを強みとする。スポーツマンシップの高さ、そして積極的で献身的なプレーも魅力である。					
	モハammad・ハーフ イズ・ビン・ スハルディ	ブルネイ	サイド ミッドフィールド	2001/5/10	165/50	Brunei National Academy U-19
	14歳の時にポテンシャルが注目され、ブルネイ・スポーツ・スクールへの参加をオファーされた。2017年、ブルネイサッカー協会全国エリート・ユース・サッカー開発計画のメンバーに選出され、現在も所属中。左利きとしての魅力だけでなく、明るい性格や品行方正な態度、そして機転が利くといった長所も特徴。					
	ソエス・ナバ	カンボジア	サイドバック	2001/2/13	176/60	Boeung Ket Football Club
	チームの良きキャプテンであり、強いリーダーシップを持つ。右サイドバックと左サイドバック両方でプレーできる器用な選手。AFF（ASEANサッカー連盟）、AFC（アジアサッカー連盟）U-16選手権（日本でキャンプを実施）やU-19選手権に代表選手として選抜。既にカンボジアの2部リーグでプレーし、国内の主要大会であるフン・セン・カップでもプレー。リーグではディフェンダーながら10得点を獲得。					
	ライ リーフェン	カンボジア	サイドバック	2002/10/16	160/53	U18 Cambodia National Academy
	小柄だが俊敏で、ディフェンス、サイドの攻撃を得意とする。利き足は右。技術力が高く、U-18カンボジア選抜の同ポジションでは抜kindでた才能の持ち主。クロス、切り返し、タイミングの良いパスを武器とし、左サイドでのカウンターアタックやフロントプレーヤーへのアシストなどチャンスメーカーとしての才能も持つ。スタミナと身体能力に優れ、フルタイムで能力を発揮できる。規律を重んじるプレー・スタイルで、責任感が強い。サッカーに対してとても情熱があり、将来、プロサッカー選手になるという強い意志がある。					
	リズキ・リド・ ラマダニ	インドネシア	センターバック	2001/11/21	179/70	Persebaya Surabaya FC U-19
	背が高く、体の大きさが特徴的な選手。卓越したボディバランスと空中戦での高さを誇る。国内の主要大会において6ゴールを決め、得点王となった。後列から攻めを仕掛ける攻撃にも参加できるディフェンダーとして、Persebaya Surabaya FCでのプロ昇格候補生として強い期待が寄せられる。					
	アルディ・マウラナ	インドネシア	攻撃的 ミッドフィールド	2001/2/25	170/60	Persib Bandung U-17
	高いサッカーインテリジェンスを持ち、ゲームを読む能力、ゲームのリズムを感じる力、ポジショニング能力、突破力、判断力に長けたオールラウンドな選手。14歳の頃から才能が開花し、2018年のインドネシアU-16国内主要大会で、最優秀選手に選ばれた。Persib Bandungでのプロ昇格候補生として強い期待が寄せられる。					

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com








	チョーニー・ ウェーンパサート	ラオス	サイドミッドフ ールド	2002/11/27	165/50	Ezra Football Club
<p>ビエンチャンの村出身。故郷で試験を受け、国内最高峰のアカデミーであるエズラフットボールセンターに入団した。その後、類まれな才能と得点能力を開花させ、2年連続でコパ コカ・コーラカップでの優勝に貢献。これらの活躍がラオス U-16 代表監督の目に留まり、チームに選抜された。代表チームでも高い得点能力を期待されている。</p>						
	ソンカン・ シーチャンタウオン	ラオス	サイドバック	2002/4/13	178/57	Young Elephants FC
<p>ビエンチャン生まれで、ビエンチャンユナイテッドでキャリアをスタート。卓越したリーダーシップを持ち、特に自陣ゴール付近のエリアで強さを発揮する多才なディフェンダー。U-14 および U-16 ナショナルチームでキャプテンを務める。恵まれた体格とキャプテンシーで将来が期待されている。</p>						
	ハリス・ハイカル・ ビン・アダム・ アフカール	マレーシア	ボランチ	2002/6/22	175/70	Akademi Bolasepak Negara Mokhtar Dahari
<p>テクニックに長け、知性のあるプレーが特徴。センターポジションでのプレーが得意で、空中戦や 1 対 1 に強く、攻撃も守備もできる。俊足ではないが、ピッチの上では献身的にプレーをし、常に全力で向き合う気持ちのこもった姿勢が評価されている。</p>						
	アリ・イムラン・ビ ン・スカリ	マレーシア	センターバック	2002/5/30	176/70	Akademi Bolasepak Negara Mokhtar Dahari
<p>フィールドのオン・オフを問わずとも規律高く、よく走り、リーダーとしても適性がある。品行方正であり、センターバックとして戦術的にも、精神的にもチームへの貢献度が高い。1 対 1 に強く、右足でのプレーが得意で、ボールの扱いも冷静かつ技術的にも長けており、試合を読む能力も高い。</p>						
	ネイ・リン・テツ	ミャンマー	ゴールキーパー	2002/4/13	178/68.3	U-18 Myanmar National Team
<p>2015 年からマンダレーフットボールアカデミーに所属し、U-15、U-16、U-18 のミャンマー代表のゴールキーパーとして選出された。現在はミャンマーサッカー連盟のユースチームに所属し、U-21 の地域リーグでプレーしている。ゴールキーパーとして高いスキルを持ち、将来性のあるプレーヤー。</p>						
	ピー・ピー・ アウン	ミャンマー	フォワード	2002/5/13	170/53.3	U-18 Myanmar National Team
<p>2015 年にマンダレーフットボールアカデミーに選抜された。ミャンマーサッカー連盟のユースチームにて、U-21 の地域リーグでプレーする才能あふれる選手である。現在は U-18 のナショナルチームにも所属し、2019 年にバンコクで行われる AFF U-18 選手権および AFC U-18 選手権、そして 2020 年 AFC U-19 選手権の予選に備えている。サッカーインテリジェンスがあり、ドリブルとクロスが得意。</p>						
	ジョン・アントネ ト・グチェレス・ ベターニオ	フィリピン	ゴールキーパー	2001/4/11	188/78	Nazareth School Of National University Football Club
<p>長身を活かしたゴールキーパー。後方からの配球が得意で、チームのボールポゼッションをサポートする。ペナルティーキックのセーブ率が高く、速いシュートもセーブすることができる。クロスやコーナーも予測し、確実にキャッチする。1 対 1 の状況でも臆さず体を投げ出す勇敢さを持つ。</p>						

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

	サミュエル・ルーベン・ウィルヘルム・タイ・チャベス	フィリピン	攻撃的ミッドフィールド	2001/10/19	173/65	Mendiola FC	左足での正確なキックとトラップが特徴。ミッドフィールドでもディフェンスでもプレーできる。昨シーズンすでに、フィリピンの U-19 ナショナルチームの一員として、インドネシアで開催された AFF トーナメントに出場経験がある。フィリピンの国内カレッジリーグのベストイレブンにも選出され、期待が寄せられている。
	ムハメド・ファルハン・ビン・ズルキプリ	シンガポール	フォワード	2002/11/10	160/52.5	Hougang United Football Club U-18	技術力が高く、素早い動きが持ち味のアタッカー。小柄ながら、ディフェンダーに自信をもって挑む。ピッチ外でのリーダーシップや規律の高さでも評価を得ている。ナショナル・ユースチームでは上の年代とプレーしており、サッカーでのキャリアにおいて、素晴らしい潜在能力を持つ選手である。 *諸事情により、ベトナムからは参加選手が 1 名となりましたのでご了承ください。
	チャナロングプロムスリカエウ	タイ	攻撃的ミッドフィールド	2001/4/17	171/60	Chonburi FC	タイ・リーグ、Chonburi FC の最年少のプロプレーヤー。パスが上手で賢い選手。体は小さいが俊敏に動き、試合では常に全力を尽くす。U-17 と U-19 代表にも選抜。ゲームメイクが巧みで、アシストはもちろん、自身でもゴールを決める。
	ナッチャー・プロムソフン	タイ	ボランチ	2001/2/8	175/56	Pattana FC	パスとシュートが得意とし、高い技術を誇る。ロングボールもショートパスもこなし、ボールキープに長ける。ハードワークもでき、フィールド上ではファイターのように勝利を目指して戦う意志を 90 分間見せる選手。U-17 と U-19 のナショナルチームで活躍中。
	モウジーニョ・バレット・デ・リマ	東ティモール	サイドミッドフィールド	2002/6/26	165/60	SLB Laulara	2011 年、全く無名だった時、基礎技術習得のために合同練習へ参加し、その場でその豊かな才能が認められた。高いスキルとトレーニング中に見せるアクロバティックな身体能力が認められ、10 代前半で名門クラブ SLB Laulara にてプレーを開始。同時に、U-12 から現在まで、東ティモール代表チームの選手として選出され続けている。
	グマリオ・A. F. ダ・シルバ・モレイラ	東ティモール	サイドミッドフィールド	2001/10/18	175/62	Boavista FC	2010 年、基礎技術習得のために合同練習へ参加、その人柄の良さ、サッカーインテリジェンス、そしてその才能をコーチに見出され、注目を集める。その後も高いパフォーマンスと技術により、10 代前半で名門クラブ Boavista FC に参加。U-12 から現在まで、東ティモール代表チームの選手として選出され続けている。
	グエン・タイン・コイ	ベトナム	攻撃的ミッドフィールド	2001/11/18	169/66	Hoang Anh Gia Lai FC	2013 年に 12 歳でホアン・アイン・ザライ JMG アカデミーに入団。5 年後の 2018 年にデビューを果たす。U-19 ホアン・アイン・ザライ FC のキャプテンとして U-19V リーグ（ベトナムプロサッカーリーグ）に出場、高いパフォーマンスを発揮し、U-18 ベトナム代表に選出される。小柄ながらフィジカルコンタクトに秀で、全体の流れを読んでゲームのリズムを生み出すことができる。*諸事情により、ベトナムからは参加選手が 1 名となりましたのでご了承ください。

### 【U-18 東北選抜選手】

現在、選考中のため、決まり次第、特設サイトで発表します。

#### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クラブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



## 【関係者コメント、プロフィール】

**古賀琢磨（サッカー指導者）****「ASIAN ELEVEN」監督**

**コメント：**東南アジアの選手は身体能力、基礎技術のレベルが高く、伸びしろを持った選手が沢山います。一方で時々クリエイティブなプレーを見せてくれることもあり、驚かされます。今回の U-18 代表チームは、自分にとっても大きな挑戦です。短期間でチームをまとめ、力を最大限に発揮できるよう最善を尽くし、今後の東南アジアサッカーの布石となるようなものを残したいと思います。

**プロフィール：**静岡県出身。順天堂大学卒業後、ヤマハ発動機サッカー部（現ジュビロ磐田）を経てジュビロ磐田、清水 エスパルス、セレッソ大阪で選手として活躍。引退後は、桃山学院大学サッカー部コーチ、セレッソ大阪 U-15 監督、セレッソ 大阪西 U-15 監督などに就任。2011 年よりシンガポール、東ティモール、上海などでアンダー世代の監督を歴任。現在、国際交流基金アジアセンターと JFA の共催事業にて、ミャンマーサッカー連盟マングレーアカデミー監督として指導中。ミャンマーナショナルチーム U-15 代表監督も兼務。

**Little Glee Monster（ボーカルグループ）****「ASIAN ELEVEN」テーマソング提供**

**コメント：**国境を越えてサッカーで東南アジアと日本をつなぐ「ASIAN ELEVEN」、 「JapaFunCup」のコンセプトにとっても共感し、「歌で人をつなぐ」私たちも刺激をもらっています。特にサッカーは全国高校サッカー選手権大会の応援歌を担当させていただいたこともあり、ご縁を感じています。選手のみなさんが世界へ羽ばたくように、応援しています。

**プロフィール：**力強い歌声と高度なアカペラをも歌いこなす透き通ったハーモニーを武器に、2014 年 10 月 29 日「放課後ハイファイブ」でメジャーデビュー。2017 年には世界的アーティストの Earth, Wind & Fire や Ariana Grande のジャパン公演でサポートアクトを務め、NHK 紅白歌合戦への初出場を果たした。2018 年には横浜アリーナ、大阪城ホールにて初の アリーナツアーを開催し、この年の NHK 紅白歌合戦にも出場。2019 年 1 月リリースの 4th アルバム「FLAVA」は、自身初となるオリコンウィークリーチャート 1 位を獲得した。

**増田セバスチャン（アートディレクター/アーティスト）****「ASIAN ELEVEN」ユニフォームデザイン**

**コメント：**「ASIAN ELEVEN」の〈国境・人種・性別・年齢を飛び越えたカラフルな精神性・強さ・アツさ〉とチームが一丸となるように〈世界という大海を渡る 1 つの生命体〉をユニフォームでデザインしました。ロゴは丸をモチーフにし、人・太陽・サッカーボールを感じさせるデザインにしています。選手の皆さんが世界中で情熱的なプレーをしてくれることを願っています！

**プロフィール：**第 16 回文化庁文化交流使、ニューヨーク大学客員研究員、京都造形芸術大学客員教授。演劇・現代美術の世界で活動した後、1995 年にショップ「6% DOKIDOKI」を原宿にオープン。きゃりーぱみゅぱみゅ『PONPONPON』MV 美術、「KAWAII MONSTER CAFE」のプロデュースなど、原宿の Kawaii 文化をコンテクスに活動。2014 年よりニューヨークを中心に個展を開催。2020 年に向けたアートプロジェクト「TIME AFTER TIME CAPSULE」を世界 10 都市で展開中。

**この件に関するお問い合わせ：**

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

取材のお願い



### 公益財団法人日本サッカー協会会長 田嶋幸三

**コメント：**このような大会を開催できることを大変嬉しく思います。アジアの中での競争力の高まりが、日本サッカー界にとっても大きな刺激となり、またアジアが世界と伍していくためにも必要不可欠です。東南アジアは日本にとって地理的にも近く、親しみのある地域です。参加されるみなさんがJヴィレッジに集まり、多様な価値観やバックグラウンドを持つ人々との交流によって、様々な発見や、相互成長が促されることを期待しています。



### 国際交流基金理事長 安藤裕康

**コメント：**国際交流基金アジアセンターでは2014年の設立以来、アジアに共に生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指し、“相互交流”を大切にきた事業を展開してまいりました。これまで実施してきた、東南アジア諸国と対等の立場に立ち、各国のアイデンティティを尊重し、多様性の中で調和と融合を目指してきた事業の成果として、今年、「響きあうアジア 2019」を実施いたします。この中でも、このサッカー事業「ASIAN ELEVEN」は、東南アジア、日本共に多くの人に愛されるスポーツをテーマにしています。「ASIAN ELEVEN」の活動が、国際社会での日本のプレゼンス向上や日本社会における多文化共生促進の一助になればと願っております。

**プロフィール：**神奈川県出身。東京大学卒業後、1970年外務省入省。1986年南東アジア第二課長、1996年内閣総理大臣秘書官、1998年アジア局審議官。その後在米国日本国大使館公使（特命全権）、外務省中東アフリカ局長、在ニューヨーク日本国総領事館総領事、駐イタリア特命全権大使等を経て、2011年10月に独立行政法人国際交流基金理事長に就任。

### 「ASIAN ELEVEN」および「JapaFunCup」について

ASIAN ELEVENは、国際交流基金アジアセンター、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が、東南アジアと日本の間におけるサッカー人材の育成、及びサッカーを通じた人々の相互理解の促進を目的として、2014年に開始したサッカー交流事業。これまでに、166人の指導者を日本から派遣し、3,000人以上の東南アジアの若いサッカー選手に指導を行ってきた。今年、本交流事業の成果発表の場として、東南アジア各国から男子18歳以下のメンバーを選抜し、チーム「ASIAN ELEVEN」を結成。デビュー戦として、6月22日（土）、福島県のJヴィレッジにて国際親善試合「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」を開催予定。

### 「響きあうアジア 2019」について (<https://asia2019.jfac.jp/>)

国際交流基金アジアセンターが主催する、日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典。国を超え共に創り上げた舞台芸術や映画から、「ASIAN ELEVEN」国際親善試合、“日本語パートナーズ”のシンポジウムまで、お互いの文化が刺激しあって生まれたイベントで構成される。国際交流基金アジアセンターがこれまで5年にわたり行ってきた相互交流の成果を振り返るとともに、日本と東南アジアとの関係をさらに深めるための起点となることが期待される。なお、「響きあうアジア 2019」は、同年に東南アジアでも展開予定。



### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



## 国際交流基金アジアセンターについて (<https://jfac.jp/>)

国際交流基金アジアセンターは、2014年4月に国際交流基金内に新設された特別ユニットで、アジアの人々の間に共感や共生の心を育むため、「日本語学習支援」と「芸術・文化」を柱に、様々な分野で双方向の文化交流事業を実施しています。



## 日本サッカー協会 (JFA) について (<http://www.jfa.jp/>)

日本サッカー協会は「日本代表の強化・組織」「各年代カテゴリーにおける競技会の実施」「選手・指導者・審判員の登録と育成」を行う、日本サッカー界を統括する代表組織。「国際交流・アジア貢献活動」にも力を入れており「サッカーを通じて子どもたちに明るい未来を与え、アジアサッカーの普及・発展につなげる」ことを目指し、46の国と地域が加盟するアジアサッカー連盟 (AFC) のモデル協会として、AFC加盟協会に対するさまざまな支援活動を行っています。



---

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クラブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com